

しゃらくかい 写・ぶ・の・会

平成30年6月30日 030

投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2018 Sharakukai

準坊さん出題「傘」の水無月6月号をお送りします。

写真俳句



1 梅雨入りてビニール傘の増殖す

梅雨に入って何故かビニール傘が増えてます。
家族の倍以上です。



2 朝はれる ひる山にかさ(雲) 夕立ふる



3 お日さまに押されてたわむ葉のひがさ

トトロ ファンの孫に描けない絵を描きました。



4 五月雨に渋谷歩道は傘の波



5 傘ささず行進続くさつきあめ

降ったりやんだりだったのですが、行進が終わったとたん土砂降りになりました。

6 梅雨さ中子鴨の如く傘が行く

幼稚園児でしょうか、傘をさし一列に並んで歩いて行く姿は、まるでカルガモの行列の様でした。





7 まどろみに陽水流る梅雨さなか

「傘がない」 今は亡き友、ねぎ坊主さんの好きな歌だった・・・ (画像は借り物です)



8 でんでんむし傘さしかけて子の覗く

最近はカタツムリも余り見かけなくなった気がします。

俳句



Photo by Junbo : 下校時に子供の傘の花が咲いてます。雨降りの為ピンがボケてます。

1 「傘がない」嘆く陽水走り梅雨

♪ 行かなくちゃ/君に会いに行かなくちゃ/傘がない♪ 井上陽水の歌声は遠く。

2 日傘さす風習なしや北の国

イギリスで日傘をさしている人に会ったことがありません。

3 梅雨寒や傘を持つ手に手を添えて

4 陽射し浴び忘れし日傘悔やまれて

サングラス・日傘・夏のお出かけ必需品！

さみだ

5 相傘の肩触れ合ひて五月雨るる

青春時代にはこうゆう事も多々ありましたね。今でも有るかな。

6 傘越しの奥えり涼し衣替え

すれ違った日傘の女性。紺の着物を見事に着こなして。

7 梅雨の街あか紺きいろ傘の華

短歌

雪溶けし
初夏の気配にいそいそと
白頭巾もたげる
水芭蕉

準坊

雪溶けの水に耐えているような水芭蕉、
凛としてました。



川柳

潔さ学べ指導者政治家も 準坊

アメフト青年の言い訳しない潔さ。それに比べ保身ばかりの情け無さ。

陣笠のよいしょよいしょの質疑かな 昼寝覚

情けない国会の質疑、日本は大丈夫か、と思ってしまいます。

日傘さしUVカットで指さされ 北切雀

「ママあ、あの人なんで傘さしてるの？雨ふってないのに」。子供に指をさされるイギリス暮らし。

30年5月「建物」（出題者：千泉）の作品と投票結果

5月号には多くの方々から投票を頂き、作者一同からお礼申し上げます（編集局）。

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 5月号は国際色豊かで、さすがですね（CSさん）。

* 兼題「建物」はさながら世界の建築物の展示場の如く、楽しく珍しい画像が集まりましたね。
こういうテーマもいいものです（池福楼）。

一席

ひじかわ いほり

肱川の庵溶け込む青時雨 準坊（11票）

<< 愛媛県大洲に流れる肱川の崖上にせり出して造られた不老庵。お薦めスポットです。>>

- * これはお酒が美味しい庵ですね。
- * 素敵な風景でぜひ行ってみたくなる写真と俳句です。
- * しっとりとした情緒 いいですねえ。
- * 写真も句もとても素敵です。
- * まさに春雨に溶けてしまいそうな風景ですね。写真もすばらしい。
- * 写真と句がピッタリ来ますね。
- * とっても雰囲気の出ていて、写真と俳句がバッチリあつてる感じです。

* 句の季節感と画像の旅情溢れる趣。背景の川と庵の構図が墨絵のよう。この場所へ行ってみたい衝動に駆られる。
 * これぞ日本の原風景ですね。しっとりとした雨の情感がでています。

佳作**駆けろ青あらし駅は恐竜の腹 北切雀（7票）**

<< 築150余年の駅舎の屋根が肋骨のように見えました。青葉が茂る頃に吹く強い風が「青あらし」です。>>

- * 正に屋根の写真は恐竜の肋骨のようですね。雰囲気がある句ですね。
- * 言葉に勢いがあり 写真がいい。
- * 駅の屋根裏を恐竜の腹に例えているのが、面白いですね。俳句も勢いがあります。
- * 破調の句と意外な語句の組み合わせにより、見慣れた風景が非現実的な幻想の世界へとダイナミックに導いている、テクニックに驚かされる。
- * 確かに恐竜の肋骨！飛行機も鳥の骨格や骨の構造を真似ようとしている今、建物と自然界の繋がりが面白い。でも、5,7,5 のテンポがつかみ難いが良いリズム。特に照明がドラゴンの弱点ぽくって肋骨感良し。

長雨に小屋を彩る苔青し 久芽（6票）

<< 雨に濡れた茅葺き屋根に見惚れる様な彩色が。苔むした古い小屋もなかなか良いもんですね。>>

- * 静の小屋と動の苔がなんか新鮮です。
- * 鮮やかな緑は心を躍らせると同時に落ち着かせもする。
- * 茅葺屋根が風情があります。
- * 荷車の車輪、木製の歯車、郷愁をそそられます。
- * 建物を建てて、世界を変える人間だけど、長年経つと自然がその建物を取り返しだすのがいいね。苔の色をキレイにみせた写真がgood。





由緒ある宿に背向けし黄水仙 千泉

- * 建物に由緒が有ろうが無かろうが花は自由に咲きますね。
- * 日々遅くなっていく北の夕暮れの感じがいい。
- * これは絶対止まってみたい宿でしょう。黄水仙が訪れる人々の側を向いて歓迎してくれているんですね。
- * 水仙は南欧原産といわれる。時代を経た建物の美がその黄水仙により際立たせている。



伽藍蒼く緑青の錆さみだるる 池福楼

<< 名刹・護国寺にて>>

- * 「緑青」とは緑色の錆のこと。「の錆」の三文字がもったいないかな。
- * 先月は都電荒川線、今月は護国寺、王子育ちの私には懐かしい場所。当然一票！（俳句へのコメントじゃないですね）。
- * 護国寺は懐かしい。またお参りしたいです。
- * 何と言つていいかわかりませんが、勉強になります。



テント村梅雨風陽から人護る 梵木

- * 毎年、ウィンブルドンの芝生でテント生活に入る友人がいるので、親しみを感じました。
- * テントは何かのイベントか？、難民の避難所か？想像を巡らせる。



フィヨルドに風は薰りてスターヴや iSAMU

<<ノルウェーの「Borgund Stave Church」です。女の子に人気のある映画「アナと雪の女王」のエルサのお城のモデルと言われています。本来ならスターブ教会としないといけないと思いますが、字余りのためスターヴとしました。>>

- * キリスト教の到着が遅れた北欧の、土着信仰の影響が感じられる建物ですね。
- * アナ雪にもハリーポッターにも登場するような館。良い画ですね。
- * スターブの意味は知りませんでしたが、写真を見ると行って見てみたいですね。
- * 風が薰るという表現がぴったりの景色ですね。



天空の街の教会風五月 夜寝覚

<< 崖の上に築かれた街オルビエートの教会、世界屈指の美しさといわれる教会のファサードです。>>

- * 五月晴れの空に聳える教会。自分も是非見てみたい。
- * 中世の人達は陽が当たって黄金に輝くファサードを、正に天国の眺めとして見上げたことでしょう。
- * 3世紀の年月をかけて建立されたといわれるこの大聖堂の莊厳さは見事。



オールド スwan ホテル（撮影：千泉）

1926年、作家アガサ・クリスティが失踪、この北イングランド、ハロゲートのホテルで発見された事件がありました。

俳句 投票数：34

一席

葉桜や校舎にひびくホルンの音 準坊（11票）

<< 新学期も始まり放課後の部活にも新人が加わった事でしょう。>>

- * 放課後の学校の空気を思い出させてくれました。
- * 一番活用される建物って学校ですよね。桜も散って新緑、部活動に励む若いエネルギーが感じられて楽しく嬉しくなります。
- * ホルンの音に惹きつけられます。
- * 葉桜の頃、それぞれの楽器が曲をなさず、練習している様子が見え、聞こえてきます。
- * ホルンののどかな音が聞こえてくるような。
- * ホルンの不協和音が生徒の元気さの証。発表会に向けて練習に励む生徒の表情が目に浮かぶ。
- * 私がそこにいるように、光景がホーンの音とともに目に浮かびます。
- * 我が家にも、学校から楽器の音が、風に乗って流れてきます。

佳作

図書館の座席番する夏帽子 久芽（10票）

<< 図書館の読書スペースの利用者が増えました。ごめんなさい、場所取りします。>>

- * よく見かける風景ですね。映像が浮かびます。
- * 一番のお気に入りです。机に置かれた夏帽子の情景が目に見えるようです。
- * 冷房が程よく効いた図書館で、好きな本と過ごす時間。大事にしたいですね。
- * 静寂な場所でも人が多い！！そっと自分の居場所を確保してくれる帽子、頼もしい相棒。
- * 景色をこんな風に匂いに出来たら良いなと思いました。
- * 静かな図書館の椅子に置かれた鍔広の帽子、リボンもついて明け放れた窓からは涼しい風が吹いてくる、というような様子が目に浮かびます。
- * リボンのついたかんかん帽がポツンと置いてある。読書の疲れもひととき癒すか。
- * 夏の暑い日に、クーラーのきいた図書館でゆっくり読書でしょうか。

いなか家の窓開くる音夏きざす 北切雀（7票）

- * 少し軋んだ窓を開ける音 風が通り抜けていく様子が想像されます。
- * 冬季の間閉め切っていた窓が開け放たれ部屋中に心地よい風が吹き渡る。
- * 窓を開ける音で夏を感じるなんて。
- * 日本の田舎の家で、木でできた窓を開けるときの音が夏の兆しだという感性が素晴らしい。

スカイツリー

空の木の眼下百万の蟻塚 池福楼

- * スカイツリーからの景色、蟻塚の比喩がいいですね。
- * 蟻塚ですか、見てみたいものです。

花冷えに古き建物軒暗し 千泉

- * 数々の歴史を刻み、年季の入った建物がひっそりとその役目を終えるよう。
- * 肌寒い日は古い建物は暗く感じますね。

五月晴れ青そら映るタワービル 梵木

- * ガラスとコンクリの無機質なビルも巡る季節で表情を変える。

夏めくやドウモヘ列の長いこと 昼寝覚

<< 強い日差しの中、フィレンツ工のドウモでは入場者の列が長く続いていました。>>

- * 名所が人で埋まるのはいい時代。
- * ゴシック建築の見事なドウモ。一度は訪れたい。

短歌**真夜中に一人占める露天風呂しみじみ眺む月は動かず 準坊**

<< 人の居ない露天風呂でじっくり月を観る何とも贅沢。>>

- * 一人きりの露天風呂につかる贅沢。同じ体験をしている私としても多いに共有できる歌ですね。

川柳

かいざん

セクハラや改竄通る小さき国 準坊

<< 本来の「おもいやり」や「優しさ」は何処へ。>>

写真いいね！**長雨に小屋を彩る苔青し 久芽**

推薦者 2名

* つい足を止めて写真撮りたくなる景色。小屋は古くても対照的な鮮やかな緑の苔が存在感を輝かせていますね（FNさん）。

* 時代劇映画のセットのような小屋。わび・さびの世界ですね。（池福楼）。

**テント村梅雨風陽から人護る 梵木**

推薦者 1名

* おもしろい！！この発想、写真のアングルがいいです。（FNさん）

iSAMUさんからの写真

写真は sibch.tv のライブカメラ映像をお借りしました。

2018.6.11の5時頃の写真です。

- ・写真は露草と ホットリップスです。



- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 平成30年7月の兼題は読者のFNさん出題「虹または空」です。8月は北切雀から「虫」と出ています。
- * 平成30年6号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 文月7月への投稿、水無月6月号作品への投票の締め切りはともに平成30年7月20日です。
- * 隨想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」（五十音順）

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅つ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会030（連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com）

© 2018 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

